

新型コロナウイルス感染症拡大予防のための 小松教区 法要・聞法会開催ガイドライン

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返し、世界中に大きな影響を与え続けています。マスク着用や手洗い、うがいなどの感染予防行動は生活の一部となりつつありますが、今後も主体的に続けていかなければなりません。真宗門徒にとっては、感染予防行動を徹底したうえで、主催者と参加者が協力し合ってお参りの場を創っていくことが重要です。

この度、ガイドライン第3報を作成しました。感染対策の内容に大きな変更はありません。今後も、お講や聞法の場を再開・継続していくための目安として、ご活用ください。

2022年6月 真宗大谷派小松教区教化委員会

1. 本ガイドラインについて

このガイドラインは、感染拡大を抑止することを最優先課題として、教区内のさまざまな場所で開催される法要やお講等の聞法会において、新型コロナウイルス感染症への感染予防対策として実施すべき基本的事項を整理したものです。

2. 法要・聞法会の開催要件

「石川県モニタリング指標」に準拠して開催判断をします。

「石川県モニタリング指標」		(※2022年6月24日時点のもの)			現在の指標
レベル1	レベル2		レベル3	レベル4	 QRコード
感染 要注意	感染拡大 注意報	感染拡大 警報	感染まん延 特別警報	感染拡大 緊急事態	

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/monitoring.html> →

開催予定日がレベル4の場合は、極力開催はお控えください。レベル1～3の場合や、レベル4の場合でも参加者が限定される・極めて少ないなど感染症拡大の影響が非常に少ないと思われる場合は、記載の感染拡大防止策を講じた上で開催してください。

各会場における感染拡大防止策 ※「レベル3・4」の場合は厳守してください！

- 会 場
 - 必ず、換気ができる場所で開催する
 - 2m 間隔(最低 1m 間隔)を確保できる定員を設定し、人数制限を行う
(定員を超えることが見込まれる場合は、別会場を探すか複数回に分けるなどする)
※ 2 畳に1名程度が目安 (例:小松教務所 講堂の場合は 50 名)
- 設営等
 - 極力対面を避け、2m間隔(最低 1m 間隔)を保って席を配置する
 - 手洗いや手指消毒を行うための用意をする
 - トイレには共用手洗いタオルは用いず、ペーパータオル等を用意する
 - 氏名及び緊急連絡先を把握するための名簿を用意する
(名簿記入を当日行う際は、ペンの使いまわしによる感染拡大を予防するための措置を講じる)
- 緊急時のための準備 (感染の疑われる方がおられた場合に、スタッフが対応する為の準備)
 - 隔離用の別室を用意し、対応時に接触を減らす為のマスク・手袋等を用意
 - 最寄りの保健所を把握しておく
南加賀保健福祉センター… TEL 0761-22-0793(小松市園町又 48)
石川中央保健福祉センター… TEL 076-223-9552(金沢市本多町 3-1-10)

3. 法要・聞法会 準備～当日にご留意いただきたい事項

① 主催側が留意すべき事項

- お齋(会食)を控えた日程にしてください <推奨>午前のみ、午後のみでの開催
- 勤行・読経・法話を行う僧侶に対してマスク着用を要請してください
- 参加者に、下記 **② 参加者に留意いただきたい事項** の内容を通知してください
- 受付(手指消毒・検温・名簿記入)を用意してください
- 感染リスクを減らすため、3つの「密」を避けてください(密閉・密集・密接)
 - 「密閉空間」を避けるために、できるだけ空気の流れる換気をしてください
<推奨>30分毎に1~2分程度、対角線や離れた位置の窓2か所以上を開ける
<推奨>勤行後は必ず換気を行う
 - 「密集場所」を避けるために、2m間隔をあけて席を設けてください
法話者や休憩時の移動等でも同様の配慮をしてください
 - 「密接場面」を避けるために、間近・対面による会話を避けてください
<推奨>講義形式の席配置、向かい合う場合は席を互い違いにして配置
- 日程の直前・休憩時・直後には、手洗いや手指の消毒を促してください

(参考)準備物について

アルコール消毒液、非接触型検温器、筆記用具(使いまわしは避ける)、名簿記入用紙、アルコールウェットティッシュ、ティッシュペーパー など

② 参加者に留意いただきたい事項

- 当日自宅で検温を行い、体温が37.5℃(または平熱+1℃)以上ある場合や、体調が優れない場合は、参加を控えてください
- ハンカチは必ず持参してください(携帯用アルコール消毒液等も、あれば持参ください)
- マスクは必ず着用してきてください(外出時は必ずマスクを着用するようにしてください)
- 感染リスクを減らすため、3つの「密」を避けてください(密閉・密集・密接)
 - (密閉)休憩の際は外に出る(同じ場所に長くとどまらない)
 - (密集)他の人と十分な距離を取る(最低でも1mの間隔をとる)
 - (密接)向かい合って座らない(万が一向かい合う場合は、互い違いに座る)
- 参加前後のお齋(会食)は控えてください
- 入場時、休憩時、退場時には必ず手洗いや手指の消毒を行ってください
- 常に咳エチケットを心掛け、勤行・読経・法話の際にも必ずマスクを着用してください
- 「新しい生活様式の実践例」などを参考に、日常的な自己管理を徹底し、感染症の媒介者とならないようにご留意ください
- 新型コロナウイルス感染症への対処法を正しく理解し実行することで、差別や風評被害が広がらないように努めてください

【参考資料】

「新しい生活様式」の実践例 (新型コロナウイルス感染症対策専門者会議)

感染状況に基づく都道府県の3区分 (新型コロナウイルス感染症対策専門者会議)

法要(葬儀・法事等)における新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けての宗派指針 (真宗大谷派)

新型コロナウイルス感染症対策 業種別の感染拡大予防ガイドライン一覧 ②集会場、公会堂 (内閣官房)